

1949年 Model C C型

自転車用補助エンジンとして誕生した「C型」。小型三輪貨物車への搭載を視野に試作したエンジン「B型」の2ストローク89ccエンジンをベースに、排気量を96ccまで高めました。

1947年に発売した自転車用補助エンジン「A型」の最高出力が1PSだったのに対し、C型は3PS。そのため既存の自転車では車体の強度不足による不具合が発生するおそれがあったことから、特定の自転車店に技術指導を行って強度の高いフレームの製作を依頼。他の自転車店はこの専用フレームを購入し、C型を取り付けて販売する形態としました。

しかし、専用フレームは自転車をベースに補強したものであったため品質面で不安は解消されず、Hondaは自らフレームを製作。自転車店が製作した専用フレームのC型と併存する形で、1949年4月にHonda初の完成車であるC型を誕生させました。

主要諸元

エンジン形式	2ストローク単気筒 ロータリーバルブ
排気量	96cc
最高出力	3PS/3,000rpm